

ことばを紡ぎ繋がる「多文化共生」フォーラム

～手繰り寄せてつくる相互理解～



このフォーラムでは、「**多文化共生**」の輪を広げることを目指し、異なる背景を持つ人々がゆるやかに繋がれる場の在り方を探ります。フォーラム企画者の**共生スポークスパーソン**は、同プロジェクトの合宿を通じて共生に必要な「**繋がり**」や「**相互理解**」の大切さを学び、「多文化共生」を身近なものとして捉えています。共生は決して遠いテーマではなく、一人ひとりに関係のある課題です。私たちは合宿で得た経験を通じて、**見えない存在である外国にルーツを持つ当事者**を可視化し、彼らに責任が押し付けられている現状を変えていきたいという思いでこのフォーラムを企画しました。

日時

1.18(土)

2025 時間: 13:00~16:30

会場: ふたば国際プラザ

神戸市長田区二葉町7-1-18

ふたば学舎内1階奥

スケジュール

- 13:00~ **はじめの挨拶** 金宣吉 [NPO法人 神戸定住外国人支援センター理事長]
- 13:05~ **「兵庫県・神戸市において外国ルーツ生が安心して青年期を迎えるための取り組みと今後の展望」**
前半[兵庫県教育委員会事務局人権教育課] 後半[神戸市教育委員会事務局学校教育課]
- 13:30~ **「共生を願う若者が今伝えたいこと」(共生スポークスパーソンより)**
共生スポークスパーソンが合宿での出会い・学び・経験を通して考える「共生社会の在り方」と、自分たち自身や周りの経験から感じる「当事者が日本社会から孤立しないために必要なアクション」を提示し、思いを伝えます。
- 14:35~ **『共に生きる社会』の実現に向けて** [ラボルテ雅樹氏]
「多文化共生」分野において個人が抱える生きづらさや違和感を社会化すること、共生の実現に不可欠な社会基盤を構築することの必要性について考えます。
- 15:15~ **「行政・教育・当事者の対話 ～当事者の声を直接聞いていますか?～」(ディスカッション)**
同じ日本社会で生活しているけれど、直接対話する機会はそう多くない「見えない人々」(当事者)。ディスカッションを通してお互いの声を直接聞き合ひましょう!
- 16:25~ **終わりの挨拶** 岩品雅子 [公益財団法人笹川平和財団 社会イノベーション推進グループ 研究員]

ゲスト



今井貴代子氏
(ファシリテーター)

専門は教育社会学。大阪大学大学院人間科学研究科特任講師。これまでとよなか国際交流協会やNPO法人クロススペースなどで、外国にルーツのある子どもや若者に関する活動や研究などを行っている。



ラボルテ雅樹氏
(登壇者)

フィリピンにルーツを持ち、とよなか国際交流協会 多言語相談サービス相談員などの対人援助職に従事。外国にルーツを持つ人々をはじめとしたマイノリティへの社会資源として、労働問題や生活困窮を交差させたソーシャルワークの創出などを目指している。

共生スポークスパーソンとは

「共生スポークスパーソン」とは、共生の実現に向けて積極的に取り組むことを目指す若者のグループです。全4回の合宿とメンバー主体のフォーラム企画・運営をプログラムとする「ことばを紡ぐプロジェクト」をきっかけに結成されました。私たちは、「多文化共生」における当事者の代弁者となり、共生の構築をリードするセルフサポーター(共生社会の実現に向けて能動的にコミットする人)として、人々の繋がりを相互理解を深めていくことを目標に活動しています。

お申し込みは特設
ホームページから! ↓



お問い合わせ/主催 特定非営利活動法人 神戸定住外国人支援センター [KFC]

TEL: 078-612-2402 FAX: 078-612-3052 E-mail: kfc@social-b.net

後援/ 兵庫県・兵庫県教育委員会・(公財)兵庫県国際交流協会(HIA)・神戸市・神戸市教育委員会・(公財)神戸国際コミュニケーションセンター(KICC)

本フォーラムは公益財団法人笹川平和財団2024年度「新人流時代の共生社会モデル構築事業」のひとつです。

